



生涯学習ができる環境づくりを

嵯峨 幸さん (菓子)

高齢者にとって、陸大学のバスの有料化はかなり影響がありました。ますます、菓子地域に生涯教育の核となるコミュニティセンターがほしいです。そこに芝生でグラウンドゴルフなどが楽しめる広場があればいいですね。

また、散歩する人々が多いので、安全で自然が豊かな散歩道がほしいです。途中にトイレ・ベンチなどがある小公園があればなおいいですね。でも滝沢は住みよい村です。



生涯学習の推進

個性と能力を育む

主な事業

(千円以下切り捨て)

●中学生海外派遣事業	362万円
●英語大好きジュニアハイスクール事業	300万円
●教材教具購入費	1,840円
●教育用コンピュータ整備	3,541万円
●少年青年女性成人国際理解教育事業	252万円
●生涯学習推進事業	17万円
●公民館事業	558万円
●図書館管理事業	890万円
●埋蔵文化財調査	1,681万円
●芸術文化振興	109万円
●地域伝統芸術映像記録保存事業	367万円
●学校給食事業	3億3,681万円

問 民具などの調査の状況は。

答 教育委員会で所蔵していた民具の整理およびその他旧家の民具の調査です。また実測図の作成などが完了したのもあります。

問 学校開放事業(東小クラブハウス)の内容は。

答 地域の方々が利用できる施設となっており、約130件の利用がありました。内容はサークル活動、PTA活動などに利用されています。

問 小中学校へのコンピューターの配置状況は。

答 16年度に一本木小学校への配置を完了し、すべての学校が1人1台という形で整備が完了しました。

問 給食センターでの地産地消、食育の観点からの考えは。

答 地元の農産物を極力使用するという考えから、滝沢産の米、りんごなどを使用しています。また「地場産品を届ける会」より年4回供給いただきました。

問 給食費の滞納者に対する支払い督促の効果は。

答 これまで2回督促を行い、若干ではありますが収納率が上がっています。しかし未納額が増加してきていることもあり、未納者に対する納付の催告と納付意識を持ってもらう取り組みを行います。

問 情報処理費の今後の推移は。また、住基ネット導入の効果は。

答 委託業務の見直しにより減少傾向にあり、今後も設計が適正なのか精査をしていきます。住基ネットのカード交付は若干停滞し、利用者も増加していない状況です。今後は多機能多目的に使用できるように検討が必要と考えます。

問 今後の歳入拡大と歳出の構造をどう見る。

答 5年間で歳出で見ると、人件費は横ばい、扶助費が1.47倍など社会保障費の伸びが顕著であります。歳入も三位一体の改革と19年度以降の流れの中でどう財政を運営すべきかを努力しています。歳入は、地域が活力を持つ手法を総合計画の中で実施していきます。また、収納率の向上対策の強化や協働の支援と行政組織の改革も含め展開していきます。